

「いつもありがとう」感謝とともに花のプレゼント



6月第2日曜日の花の日に合わせ熊本YMCA赤水・尾ヶ石・永草保育園の園児たちは毎年、お世話になった人へ花束を届けています。

6月8日、市役所には永草保育園の園児9人が訪れ「いつもありがとうございます。お仕事がんばってください。」と、感謝の言葉とともに自宅から持ち寄った花を職員に手渡しました。また、保育園で習った手話付きの歌を披露し、かわいい園児たちを前に職員らも大変喜びました。

家庭教育の力強い味方！ 家庭教育支援コーディネーターです

子どもの生活習慣やマナー、しつけについての保護者の悩みなど、家庭教育のいろいろなご相談に対応する窓口として宮地小学校に「家庭教育支援コーディネーター」が配置されています。また、保護者を対象とした家庭教育を学習する機会の提供や、問題解決の専門家とのネットワークで家庭教育を応援します。



▲家庭教育支援コーディネーターの渡邊るみ子さん。

おたずねやご相談については、火曜日または木曜日の午前中に宮地小学校（☎22・0113）へお電話いただきますようお願いいたします。

ALTダイアリー 「2年間お世話になりました」

一宮中学校ALT ニコール ランダ



時間が経つのは早いもので、私が日本に来てから2年が経ったことが信じ難くてなりません。来日当日は、知人もいなく、日本語も話すことができず、この先何があるかも予想できない状態でしたが、今ではその喜びを十分に感じ、とても感謝しています。

阿蘇の自然はとても美しいです。私は、毎朝起きて四季折々に姿を変える山々の風景を見ることを愛しましたし、おいしくて新鮮な水を飲むことや、いろいろな温泉に入ることを楽しみました。

私が出会った阿蘇の人々は、みんな私を歓迎してくれたので、私はより多くの人々と出会いたいと思えました。そして、道端での親しみを込めたごんにちはのあいさつに始まる、アメリカと異なる日本文化のすべては、私の日本と阿蘇への愛情をよりいっそう深めました。

私は、来日した時に、日本や阿蘇で有意義な時間を過ごすため、自分自身の目標を設定しました。「阿蘇の火祭り」で太鼓をたたけたことに始まり、卵焼きの作り方を学んだこと、着物を着て茶会の席に参加できたことは、

みなさんの協力があったからこそ達成できた目標です。

帰国することで、阿蘇で暮らす人々に会えなくなり、すばらしい景色を見られなくなることをとてもさみしく思います。

英語を学ぶことはとても難しいです。しかし、子どもたちや英会話教室のみなさんには笑顔で学び続けてほしいものです。

英語のみならず、私は外国の文化についても教えることができました。私との出会いが、みなさんにとって、海外への興味・関心を持つことや、旅行をするためのきっかけになれば幸いです。

私たちは、世界中の国々の異なる文化から多くのことを学ぶことができます。私は、阿蘇でその機会を持つことができ大変幸せでした。私は来日した当時より大きく成長して帰国することができそうです。そうなれたこと、そうなれるよう手助けしてくれた阿蘇の人々に、これから先も心から感謝し続けるでしょう。2年間、本当にお世話になりました。

介護老人保健施設 愛・ライフ内牧

短期入所

入所

通所リハ

いつでも見学できます。 電話:0967-32-5511

広告